2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社エクストリーム　　上場取引所　東
コード番号　　6033　　ＵＲＬ　https://www.e-xtreme.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長 CEO　　（氏名）佐藤　昌平
問合せ先責任者　（役職名）取締役 管理本部長　　（氏名）島田　善教　　ＴＥＬ　03-5949-2003
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	6,206	9.9	539	△18.9	616	△14.5	404	△11.7
2026年３月期中間期	5,644	0.8	665	△18.8	721	△9.8	458	△14.4

（注）包括利益　2027年３月期中間期　354百万円（△25.8%）　2026年３月期中間期　478百万円（△4.0%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	75.60	75.52
2026年３月期中間期	85.65	85.60

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	9,843	7,241	69.7
2026年３月期	9,441	7,235	72.9

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　6,863百万円　2026年３月期　6,884百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	62.00	62.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期（予想）			―	68.00	68.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	10.2	1,300	△9.7	1,400	△16.1	920	△21.9	171.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規　2社　（社名）　株式会社アットアイパス、株式会社インフィズジャパン

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.９「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご参照下さい。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	5,508,676株	2026年３月期	5,508,676株
② 期末自己株式数	2027年３月期中間期	153,968株	2026年３月期	153,968株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	5,354,708株	2026年３月期中間期	5,353,708株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨ではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P.３「１．当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報…… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 9
（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 11
（重要な後発事象） …… 12

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2026年４月１日～2026年９月30日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が進むなど緩やかな回復傾向が見られ、このような中、生成AI技術への注目の高まりにより、企業の生産性向上や競争力強化を目的としたAI・DX（デジタル・トランスフォーメーション）関連の高い需要が継続しており、引き続き様々な場面においてAI導入の流れが加速しております。ただし、依然として不安定な国際金融情勢や地域紛争、資源価格の変動、円安の継続など、経済環境の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが事業展開を行うIT業界においては、AI技術の活用やDXの推進によって、国内のIT市場規模は今後も拡大することが見込まれる一方で、IT人材が不足する状況は継続するものと思われます。こうした経営環境の中、新規顧客の開拓や、人材の確保および育成が重要であるとの認識のもと、事業の拡大と成長に取り組んでまいりました。また、より柔軟にITサービスの提供を実行するために、事業構造の見直しにも着手しております。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は6,206,157千円（前年同期比9.9%増）、営業利益は539,484千円（前年同期比18.9%減）、経常利益は616,353千円（前年同期比14.5%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は404,812千円（前年同期比11.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

＜トータルソリューション事業＞

トータルソリューション事業は、これまでの「デジタル人材事業」である人材派遣サービスと「受託事業」である開発サービスを融合し、当社人材の付加価値の最大化を図り、顧客に対しての最適解となるITサービスの包括提供を行う事業となります。

具体的には、顧客の潜在的課題の抽出から企画立案、要件定義といった上流工程からデザイン、開発、運用までITのプロダクトサイクルのあらゆるフェーズにおいて、人材派遣や開発体制の提供、プロダクトの納品といった様々なかたちで最適なITサービスの提供を行います。

子会社の株式会社エクスラボ＆コンサルティング、EXTREME VIETNAM Co.,LTD.、エス・エー・エス株式会社、酒田エス・エー・エス株式会社、株式会社アットアイパス、株式会社インフィズジャパンについても当該事業に含まれます。

当中間連結会計期間においては、デジタル人材サービス、開発サービスにおいて、引き続き新規顧客の開拓や既存顧客への深耕営業に取り組むと同時に、トータルソリューション機能の構築に着手し始めました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は5,849,589千円（前年同期比12.3%増）、セグメント利益は1,002,588千円（前年同期比20.5%増）となりました。

＜コンテンツプロパティ事業＞

コンテンツプロパティ事業は、当社が保有するゲーム・キャラクター等の知的財産を活用し、様々な事業展開を行うセグメントであり、具体的には、ゲーム開発・販売・運営のほかに、当社が保有するゲームタイトル又はキャラクターなどを様々な商材へ使用許諾を行うライセンス事業が含まれております。

子会社の株式会社Ｄｒａｇａｍｉ Ｇａｍｅｓは当該事業に含まれます。

当中間連結会計期間においては、当社がライセンス許諾したスマートフォン版ゲームアプリ『ラングリッサー』のゲーム販売額に応じたロイヤルティ収益が発生した他、株式会社Ｄｒａｇａｍｉ Ｇａｍｅｓがリリースしたゲームタイトルの販売額も発生しております。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は368,786千円（前年同期比16.6%減）、セグメント利益は159,586千円（前年同期比39.2%減）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①　総資産・負債・純資産の状況

（総資産）

当中間連結会計期間末における総資産は、9,843,904千円となり、前連結会計年度比402,436千円の増加（前連結会計年度比4.3%増）となりました。これは主に、現金及び預金が240,199千円、有価証券が166,297千円、仕掛品が57,881千円、のれんが206,558千円、その他（投資その他の資産）が44,940千円、それぞれ増加した一方、売掛金が82,799千円、投資有価証券が226,981千円、それぞれ減少したことによるものです。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債は、2,602,895千円となり、前連結会計年度比396,507千円の増加（前連結会計年度比18.0%増）となりました。これは主に、短期借入金が200,000千円、未払費用が79,442千円、未払法人税等が69,818千円、賞与引当金が25,113千円、その他（固定負債）が35,239千円、それぞれ増加した一方、未払金が20,658千円、未払消費税等が10,379千円、それぞれ減少したことによるものです。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は、7,241,008千円となり、前連結会計年度比5,928千円の増加（前連結会計年度比0.1%増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益404,812千円の計上により利益剰余金が72,820千円、非支配株主持分が27,135千円、それぞれ増加した一方、その他有価証券評価差額金が91,562千円、為替換算調整勘定が2,465千円、それぞれ減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ406,681千円増加し、4,945,254千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は583,016千円（前年同期は441,549千円の収入）となりました。これは、主に法人税等の支払額230,744千円があったものの、税金等調整前中間純利益745,351千円、売上債権の減少額114,423千円などにより資金獲得したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は4,651千円（前年同期は447,164千円の収入）となりました。これは、主に長期預金の払戻による収入200,000千円があったものの、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出310,560千円などにより資金使用したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は147,694千円（前年同期は272,569千円の支出）となりました。これは、主に短期借入金の増加額200,000千円があったものの、配当金の支払額330,812千円などにより資金使用したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の通期業績予想につきましては、2026年５月14日に公表いたしました通期連結業績予想から変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,191,991	4,432,190
売掛金	1,360,030	1,277,231
有価証券	343,072	509,370
製品	1,633	1,200
仕掛品	161,418	219,299
その他	202,433	223,337
貸倒引当金	△431	△581
流動資産合計	6,260,148	6,662,048
固定資産		
有形固定資産	136,590	182,180
無形固定資産		
ソフトウエア	62,843	61,692
ソフトウエア仮勘定	－	2,365
のれん	119,037	325,595
顧客関連資産	－	69,967
無形固定資産合計	181,880	459,620
投資その他の資産		
投資有価証券	1,568,906	1,341,924
長期預金	600,000	400,000
保険積立金	317,320	370,943
長期前払費用	27,588	33,211
その他	357,561	402,501
貸倒引当金	△8,527	△8,527
投資その他の資産合計	2,862,849	2,540,054
固定資産合計	3,181,320	3,181,855
資産合計	9,441,468	9,843,904

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	650,000	850,000
未払金	806,010	785,352
未払費用	134,550	213,993
未払法人税等	245,968	315,787
未払消費税等	128,793	118,414
賞与引当金	192,512	217,625
その他	34,040	52,489
流動負債合計	2,191,876	2,553,661
固定負債		
退職給付に係る負債	11,663	11,145
その他	2,848	38,088
固定負債合計	14,511	49,233
負債合計	2,206,388	2,602,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	425,080	425,080
資本剰余金	421,895	421,895
利益剰余金	6,071,419	6,144,240
自己株式	△200,981	△200,981
株主資本合計	6,717,414	6,790,235
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	142,237	50,674
為替換算調整勘定	25,204	22,738
その他の包括利益累計額合計	167,441	73,413
新株予約権	13,974	13,974
非支配株主持分	336,249	363,385
純資産合計	7,235,080	7,241,008
負債純資産合計	9,441,468	9,843,904

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	5,644,979	6,206,157
売上原価	3,902,240	4,237,453
売上総利益	1,742,738	1,968,704
販売費及び一般管理費	1,077,408	1,429,220
営業利益	665,330	539,484
営業外収益		
受取利息	51,253	43,375
受取配当金	1	1
為替差益	11,992	－
投資有価証券売却益	－	55,134
その他	519	1,700
営業外収益合計	63,766	100,211
営業外費用		
支払利息	3,389	6,112
支払手数料	3,221	3,238
為替差損	－	13,991
その他	1,388	0
営業外費用合計	7,999	23,341
経常利益	721,097	616,353
特別利益		
負ののれん発生益	－	10,058
固定資産売却益	－	10,505
受取立退料	－	108,433
特別利益合計	－	128,997
税金等調整前中間純利益	721,097	745,351
法人税等	250,275	296,520
中間純利益	470,821	448,830
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失（△）	12,300	44,018
親会社株主に帰属する中間純利益	458,521	404,812

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	470,821	448,830
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,702	△91,562
為替換算調整勘定	△7,438	△2,465
その他の包括利益合計	7,263	△94,027
中間包括利益	478,085	354,802
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	465,784	310,784
非支配株主に係る中間包括利益	12,300	44,018

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	721,097	745,351
減価償却費	29,694	42,697
のれん償却額	16,609	24,875
賞与引当金の増減額（△は減少）	16,771	21,863
貸倒引当金の増減額（△は減少）	13	△29
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△336	△517
受注損失引当金の増減額（△は減少）	△3,123	－
受取利息	△51,253	△43,375
支払利息	3,389	6,112
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△55,134
為替差損益（△は益）	△1,790	21,914
負ののれん発生益	－	△10,058
固定資産売却益	－	△10,505
受取立退料	－	△108,433
売上債権の増減額（△は増加）	52,870	114,423
棚卸資産の増減額（△は増加）	△93,222	△55,529
未払金の増減額（△は減少）	47,800	△54,355
未払消費税等の増減額（△は減少）	－	△19,639
その他	△53,105	29,168
小計	685,416	648,825
利息の受取額	58,636	42,948
利息の支払額	△3,672	△6,881
立退料の受取額	－	108,433
法人税等の還付額	35,374	20,434
法人税等の支払額	△334,205	△230,744
営業活動によるキャッシュ・フロー	441,549	583,016
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	480,446	－
有形固定資産の取得による支出	△19,013	△64,461
有形固定資産の売却による収入	－	21,820
無形固定資産の取得による支出	△22,808	△19,028
投資有価証券の取得による支出	－	△29,232
投資有価証券の売却による収入	－	177,303
長期預金の払戻による収入	－	200,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△310,560
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	－	12,575
差入保証金の差入による支出	△16,984	△12,083
差入保証金の回収による収入	25,524	19,016
投資活動によるキャッシュ・フロー	447,164	△4,651
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	200,000
長期借入金の返済による支出	△9,600	－
社債の償還による支出	△5,000	－
配当金の支払額	△229,219	△330,812
非支配株主への配当金の支払額	－	△16,882
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△28,749	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△272,569	△147,694
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,495	△23,989
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	623,639	406,681
現金及び現金同等物の期首残高	4,049,107	4,538,573
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,672,747	4,945,254

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算方法）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

※１　現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
現金及び預金	4,702,494千円	4,432,190千円
預入期間が３か月を超える定期預金	△324,810千円	－千円
流動資産その他（預け金）	3,579千円	3,694千円
有価証券（ＭＭＦ）	291,483千円	509,370千円
現金及び現金同等物	4,672,747千円	4,945,254千円

※２　株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

該当事項はありません。

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

株式の取得により新たに株式会社アットアイパスを連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳並びに株式会社アットアイパス株式の取得価額と取得のための支出（純額）との関係は次のとおりであります。

流動資産	123,553千円
固定資産	55,958
のれん	231,433
顧客関連資産	72,225
流動負債	△43,580
固定負債	△33,590
株式の取得価額	406,000
現金及び現金同等物	△95,439
差引：取得のための支出	310,560

株式の取得により新たに株式会社インフィズジャパンを連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳並びに株式会社インフィズジャパン株式の取得価額と取得のための収入（純額）との関係は次のとおりであります。

流動資産	40,062千円
固定資産	7,200
流動負債	△10,762
固定負債	△2,442
負ののれん発生益	△10,058
株式の取得価額	24,000
現金及び現金同等物	△36,575
差引：取得のための収入	12,575

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	トータルソリューション事業	コンテンツプロパティ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,202,958	442,020	5,644,979	－	5,644,979
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,058	400	8,458	△8,458	－
計	5,211,016	442,420	5,653,437	△8,458	5,644,979
セグメント利益	831,696	262,628	1,094,324	△428,993	665,330

（注）１．セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用（主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費）であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	トータルソリューション事業	コンテンツプロパティ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,838,571	367,586	6,206,157	－	6,206,157
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,018	1,200	12,218	△12,218	－
計	5,849,589	368,786	6,218,375	△12,218	6,206,157
セグメント利益	1,002,588	159,586	1,162,174	△622,690	539,484

（注）１．セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用（主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費）および子会社株式の取得関連費用が含まれております。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、従来「デジタル人材事業」、「受託開発事業」および「コンテンツプロパティ事業」の３つを報告セグメントとしておりましたが、顧客最適解となるサービスの包括提供を実現することを目的として、「デジタル人材事業」と「受託開発事業」を統合して「トータルソリューション事業」とし、「トータルソリューション事業」と「コンテンツプロパティ事業」の２つの報告セグメントに変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報につきましても、変更後の方法により作成しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「トータルソリューション事業」において、2026年６月30日付で株式会社アットアイパスの全株式を取得したことに伴い、のれんが231,433千円増加しております。

（重要な負ののれん発生益）

「トータルソリューション事業」において、2026年６月30日付で株式会社インフィズジャパンの全株式を取得したことに伴い、負ののれん発生益が10,058千円発生しております。

また、負ののれん発生益は特別利益であるため、上記セグメント利益には含まれておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。